

# PRSJ NEWS

2024年4月号 No.361



広報活躍研究会「ヤマトグループ歴史館クロネコヤマトミュージアム」訪問の様子  
P10 掲載（会員限定記事）

## TOPICS

### MESSAGE

PRは、会社を変革し、社会を良くするために、社員全員が取り組むこと

PRSJ 理事 飾森 亜樹子

事務局だより

P3

P10



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 牧口 征弘

# 目 次

4月~5月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	PRは、会社を変革し、社会を良くするために、社員全員が取り組むこと	P3
ATTENTION(お知らせ)	5月入会の皆様のご紹介	P4
〃	役員選挙スケジュール	P5
BULLETIN(活動報告)	第45回広報ゼミ(1月25日)開催報告(会員限定) 広報パーソンの魅力向上委員会~キャリア開拓の先駆者に学ぶ#2~	P6
〃	第30回広報活動研究会(3月7日)開催報告(会員限定) 「ヤマトグループ歴史館クロネコヤマトミュージアム 訪問」	P6
〃	PR業経営者懇談会開催(3月13日)開催報告(会員限定) 「PR業を今後就活生や転職希望者にとってさらに魅力的な業界にしていくために、どのようなコミュニケーションが必要か」	P7
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P8
PLAZA(会員便り)	電通PRコンサルティング 『新しい「企業価値」を創出するPR4.0への提言』発売中	P9
事務局だより		P10

## 4～5月 セミナー・イベント スケジュール

【オンデマンド視聴・通年開講】 パブリックリレーションズ入門 Web 講座 2023	講 師	: 東京都市大学 都市生活学部 / 大学院環境情報学研究所 准教授 北見幸一氏他、全9名
PR プランナー1 次試験対策講座	講 師	(株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PR プランナー2 次試験対策講座	講 師	三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PR プランナー3 次試験対策講座	講 師	(株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名
【オンデマンド視聴】 PR 集中テーマスタディ<第 1 回>	日 時	: 2023年7月25日(火)～2024年7月31日(水)
	テーマ	: リスクコミュニケーション(危機管理広報)
PR 集中テーマスタディ<第 2 回>	日 時	: 2023年11月22日(水)～2024年11月22日(金)
	テーマ	: 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開
PR 集中テーマスタディ<第 3 回>	日 時	: 2024年2月21日(水)～2025年2月20日(木)
		: ブランディングを実現する最新PR戦略
【オンデマンド視聴】 パブリックリレーションズ中堅実務者講座	日 時	: 2023年10月26日(木)～2024年4月26日(金)
	テーマ	: 「広報」の存在価値を高めるには?
	講 師	: 森ビル(株) 特任執行役員 広報室長 野村秀樹氏
【オンデマンド視聴】 消費者庁ステマ規制に関するセミナー	日 時	: 2024年3月25日(月)～2024年4月19日(金)
	講 師	: 池田・染谷法律事務所 染谷隆明氏
【ハイブリッド開催】 第 46 回広報ゼミ	日 時	: 4月18日(木) 18:15～(開場18:00)
	テーマ	: ひとり広報よろずお悩み相談会
	会 場	: パナソニック ホールディングス 日比谷拠点
【会場開催】 パブリックリレーションズ入門講座 2024	日 時	: 4月22日(月)・23日(火)・24日(水)
	講 師	: 電通PRコンサルティング 阪井完二氏他、全11名
	会 場	: 富士ソフト アキバプラザ

## 4月～5月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(4月度)	日時	: 4月11日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(5月度)	日時	: 5月9日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(4月度)	日時	4月17日(水)	13:30～14:30
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(4月度)	日時	: 4月25日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(4月度)	日時	: 4月5日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(4月度)	日時	: 4月25日(木)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(4月度)	日時	: 4月26日(金)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(4月度)	日時	: 4月3日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(4月度)	日時	: 4月16日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

## PRは、会社を変革し、社会を良くするために、社員全員が取り組むこと



PRSJ 理事 飾森亜樹子

(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ

経営企画部 部長 チーフ・コーポレートブランディング・オフィサー

サステナビリティ経営・パーパス経営は、経営者にとっての言葉だと思いますが、MUFGでは「社員と創るパーパス経営」と言っています。社員と創るとはどういうことか。サステナビリティコミュニケーションという言葉も一般的になっており、良き会社としての活動をストーリーに見える化することはPRパーソンの重要な活動の一つです。

私は従来から、コーポレートコミュニケーションの役割を、会社と従業員自身を変革していく、そして良き企業が良き社会を作るために貢献する好循環をつくることだと考えてきました。そのために必要なのが、今どこの会社も何等かの形で取り組んでいる「カルチャーの改革」だと思います。経営理念やパーパスを中心に据えて、企業変革や事業推進のエンジンにする、パーパスを体現する社員を見える化し、パーパスの体現とはこういうことだと社員に実感してもらう、そしてそれを社員の行動変容、誇り、エンゲージメントにつなげるというサイクルです。私たちは社員にどうあってほしいか。どの企業も、様々な産業のお客さまとつながっていますが、社会課題、環境課題の解決のためにお客様と対話をしていくことが最初の一步です。特に我々金融機関は、お客さまと一緒に良い社会をつくっていくという役割が中核にあります。

社員がお客さまの様々な環境・社会課題のトランジションに伴走し、責任ある行動を一緒に取っていく、そのために対話をし続ける、そしてそのために新たなビジネスを創造・実現していく。そしてこれらの協働アクションを適切に世の中に伝えていかねばなりません。社員が自分事化したパーパスを体現しようと行動が変わる、その積み重ねがステークホルダーの共感に繋がり、会社の価値向上に貢献する。このような良い循環を確りと生み出し、この会社で働く、誰かのチカラになる喜びを社員一人ひとりが実感できる、そういう会社を社員と一緒に作っていく。これが我々の「社員と創るパーパス経営」です。

サステナブル経営の考え方において、もちろんESGの社会課題の守りの要素は必須です。しかしグローバルなPRの世界で更に重みを増す我々PRパーソンの役割はむしろ“攻め”であり“価値を創り出していくこと”。社会課題を解決する社会課題起点のストーリーを各企業がそれぞれの特長をもって打ち出していると思います。そして、社会の課題を解決すること、社会を良くすることは、一企業だけで実現できることはなく、より多くの企業や団体のつながりと協働・共創から生まれることです。我々PRパーソンが会社や団体を越えて繋がり、全員で、会社を、そして社会を良くするコミュニケーションを行っていたらと願っています。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、4月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

## アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社



アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサ（本部：フランス）のメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命保険（株）とアクサ損害保険（株）の2社を擁しています。保険と資産運用というコアビジネスで培ったリスクにおける専門性や経験、ノウハウを活かし、日本の地域社会とステークホルダーの皆さまにアクサならではの価値をお届けすることで、アクサのパーパス「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」を体現すべく、日本全国約9000人弱の社員が様々な取り組みを行っています。会員の皆さまにはさまざまな情報交換の機会をいただければ幸いです。

## ヤンマーホールディングス株式会社



1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開しています。最近では、ヤン坊マー坊のリニューアルやオリジナルアニメ「未ル」の制作など、ブランディング活動も加速しています！

日本パブリックリレーションズ協会では、さまざまな業界のPR活動を学ばせていただき、広報活動を通してよりよい社会の実現に少しでも貢献できればと思っています。また、会員企業のみなさまとは広報という共通軸で、業界を超えて交流していきたいと思えます。よろしくお願いたします！

## 2024 年役員候補者選挙 会員投票について

当協会の現役員（理事・監事）は、来る 2024 年 6 月 11 日（火）に開催予定の通常総会をもって任期満了となります。

（公社）日本パブリックリレーションズ協会 選挙管理委員会は、定款第 21 条、第 22 条、ならびに「役員候補者選出に関する規則」に基づき、役員候補者選出選挙を実施します。

このほど次期役員候補者の立候補受付が締切られ、候補者が確定いたしましたので、投票用紙および選挙関連書類一式を登録先住所に郵送いたしました。書類は 4 月 12 日にお送りしたメール記載の URL からダウンロードできます。

つきましては、投票用紙のご提出をお願いいたします。

本選挙は、立候補者と理事会推薦者への信任投票によって行われます。選出選挙は「一般企業」と「PR 業・PR 関連業」の 2 つの選挙区で行います。理事会推薦候補については、関西部会理事、有識者理事、常任理事等の信任投票を実施します。また、理事会推薦の監事候補者に対しては、信任投票を行います。

投票できるのは当協会の正会員本人に限られます。

### 役員選挙スケジュール

4 月 12 日（金）告示～投票開始  
－協会 HP 内「選挙サイト」開設  
－投票用紙など関連文書の一斉送付

4 月 26 日（金）投票締切（当日消印有効）

5 月初旬 開票→結果を直後の理事会に報告

6 月 11 日（火）通常総会  
－信任決議、臨時理事会招集→新体制発足

正会員の皆様には時期が来ましたら改めてご案内をお送りいたします。

## ■会員限定

第 45 回広報ゼミ (1 月 25 日) 開催報告

### 広報パーソンの魅力向上委員会 ～キャリア開拓の先駆者に学ぶ#2～

企業部会

2024 年 1 月 25 日 (木)、近畿大学東京センターにおいて第 45 回広報ゼミ「広報パーソンの魅力向上委員会～キャリア開拓の先駆者に学ぶ#2～」が開催されました。今回はヤマト運輸株式会社執行役員 コーポレートコミュニケーション担当 細谷祥久様、日本マクドナルド株式会社 広報部 部長 眞野昌子様のお二人にご登壇いただき、会場参加とオンラインのハイブリッド方式で開催されました。

## ■会員限定

第 30 回広報活動研究会(3 月 7 日)開催報告

### 「ヤマトグループ歴史館クロネコヤマトミュージアム 訪問」

企業部会

企業部会では、会員企業の広報活動（機能、組織、運営体制など）を実際のケーススタディを通して知り、広報・文化施設等によるコーポレートコミュニケーション、ブランディングを体験していただくことを目的に「広報活動研究会」を開催しています。

今回は 3 月 7 日、ヤマト運輸株式会社様のご尽力により東京都港区港南にある同社の「ヤマトグループ歴史館 クロネコヤマトミュージアム」を訪問しました。21 社 32 名の会員が参加して、2020 年にオープンし 2023 年に日本展示学会が主催する「第 7 回日本展示学会賞」を受賞したミュージアムの見学を行いました。



## ■ 会員限定

### PR業経営者懇談会開催

(株)マスメディアン編集部 小林氏によるプレゼンを契機に  
「PR業を今後就活生や転職希望者にとってさらに魅力的な業界にしていくために、どのようなコミュニケーションが必要か」について語り合う機会に

PR業部会

2024年3月13日18時より、六本木の国際文化会館にてPR業部会主催のPR業経営者懇談会「PR業を今後就活生や転職希望者にとってさらに魅力的な業界にしていくために、どのようなコミュニケーションが必要か」が開催されました。

## 協会掲載記事

● 4月1日(月) 『月刊広報会議』(宣伝会議)5月号

『月刊広報会議』2024年5月号における当協会の連載コラムで、4月22日から3日間にわたり開講する「パブリックリレーションズ入門講座2024」について掲載されました。

コラムでは、協会が新任者向け講座の対面開講を5年ぶりを行うことをはじめ、のべ11にわたる内容で構成される本講座の概要、講師陣が紹介されています。また、本講座を動画収録、編集し、7月からWeb講座として通年開講することにも触れられています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

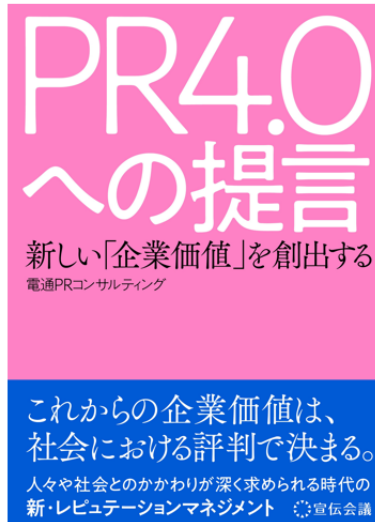
## ■ 会員便り

このページは会員の皆様から寄せられた情報をお伝えしております。会員の皆様のページとしてパブリックリレーションズに関する様々な情報をお寄せください。

※内容によって掲載についてご相談させていただく場合があります。

### 電通 PR コンサルティング様より

#### 『新しい「企業価値」を創出する PR4.0 への提言』発売中



激変するビジネス環境、進化する広報・PR  
いま知っておきたい**6つの潮流**、  
実践すべき**7つの視点**を解説！

前例踏襲になりがちな  
広報戦略に新しい視点を！

・定 価：2200円 (本体2000円+税)  
・発 売 日：2024年4月2日  
・仕 様：A5判、224ページ本文2色  
・形 式：紙書籍、電子書籍  
・発 行：株式会社宣伝会議

### ■ 手法ではなく“ゴールのあり方”で分類

本書は、2020年8月から3年間、月刊「広報会議」（宣伝会議発行）で連載した「データで読み解く企業ブランディングの未来」をもとに、コロナ後の新しい局面を迎えた広報・PRのあるべき姿を、手法ではなく“ゴールのあり方”で分類し考察しています。PR1.0は情報拡散を目的としたPRとして位置づけ、その後はPRの効果測定の指針として世界的に採択されている「バルセロナ原則」（注）に照らし合わせ、2.0（アウトプットからアウトカム）、3.0（インパクトの評価）としています。そして来るべきPR4.0はどこに向かうのか。

注：「バルセロナ原則」とはコミュニケーション効果測定・評価協会（AMEC：International Association for Measurement and Evaluation of Communication、本部ロンドン）が2010年にバルセロナで発表したPRの効果測定に関する7つの原則。以降、コミュニケーションの環境変化に合わせ、2.0(15年)、3.0(20年)と改定。

### ■ PR(パブリックリレーションズ)の根幹は「レピュテーションマネジメント」

本書では企業や団体が向き合うさまざまな課題として、サステナビリティやインターナルコミュニケーションズへの取り組み、リスク・イシューマネジメントなどの6つの潮流について各章で取り上げました。これらは先の連載で特に頻出されたテーマでもあり、具体的な企業・団体の取り組み事例も含め、これらの潮流を見極めながら、誤情報・フェイクニュースも飛び交う昨今、あらためてPR（パブリックリレーションズ）の根幹である「レピュテーションマネジメント」の重要性を訴求しました。最終章ではそのゴールに向かって実践すべき7つの視点を導き出しています。

#### 株式会社電通 PR コンサルティング

電通グループ内のPR領域における専門会社。1961年の創立以来、国内外の企業、政府、自治体、団体の戦略パートナーとして、レピュテーション・マネジメントをサポートしています。データ分析を行い、そこから得られたインサイトに基づくコンテンツ開発と最適な情報流通デザインを通して、クライアントと共にソーシャルイノベーションへの貢献を目指しています。2009年、2015年には、日本国内で最も優れたPR会社に贈られる「ジャパン・コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を、2018年には「北アジアPRコンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」をPRovoke Media (旧 Holmes Report) から授与されています。



事務局の青田です。

事務局の青田です。

新たな年度がスタートしました！

今年には役員改選があり、フレッシュな体制となります。事務局メンバーも、昨年関西事務局が一新したのに続き、教育委員会担当が変わります。

PRをめぐる状況が猛スピードで変化している中、私たちも緊迫感をもって動かなければなりません。これまで貢献してくださった方々に敬意を表し、継承すべきものを継承しながら、変えるべきものは躊躇なく変えることが求められます。唯一絶対の答えがありませんので、みなさんと喧々諤々、しっかり議論しながら、PRの胆である適切な“合意形成”を私たち自らが実践したいですね。ホントに。

## ■FTクラスのメディアとリレーションを持つ意味（国際セミナー）

国際・交流委員会主管「国際セミナー」。3月22日にフィナンシャルタイムズの稲垣東京支局長をお迎えし、国際メディアの現状とFTの編集方針をお聞きしました。企業個社の情報がどのように扱われるについて率直なご説明がありましたが、私の印象としては、FTクラスのメディア、ジャーナリストとコミュニケーションする価値は、自社情報の発信というよりも受信にあるという考えが、あらためて裏付けられたように思います。

## ■久々の大使館訪問はカナダ。フレンドリーな対応に感謝（大使館訪問）

青山通り沿いにひと際目立つオシャレな建物がカナダ大使館。久々のリアルイベントはとてもフレンドリーな雰囲気、終始笑顔の絶えない交流になりました。大阪・関西万博での出展では「カナダのオープンネス」をアピールするとのこと。ブランディングが一貫していますね。

この日の参加者は全員、パビリオンに招待してくださるとの嬉しい約束もいただきました。

## ■ステマ規制セミナー（オンデマンド）は必聴！ 4月19日（金）締め切りです。

今後の動向が気になるステマ規制について、消費者庁での業務経験をお持ちの染谷隆明弁護士のお話をうかがいました。事前の打ち合わせをキッチリさせていただいたこともあって、当日の内容は現場の担当者が知りたい点の現状を余すことなく解説いただきました。法律施行から1年目の今年10月に注目すべし、とのこと。オンデマンドでは是非、視聴してください。

## ■教育委員会（講座・セミナー）担当の事務局スタッフが変わります。

長年、教育プログラムを担当していただいた真部さんがそのお役目を終了し、新たに合同会社 Rinks の佐藤さん（と森野さん）が担当することとなりました。

真部さんが築き上げてきたスキームを継承しながら、新たな挑戦もしていきたいと考えています。みなさんのご意見、ご提案をお待ちしています。

真部さん、ほんとうにありがとうございました。

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F  
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F